

注 意 報

平成17年8月1日
長崎県病害虫防除所長

平成17年度病害虫発生予察 注意報第4号

普通期水稻 トビイロウンカ

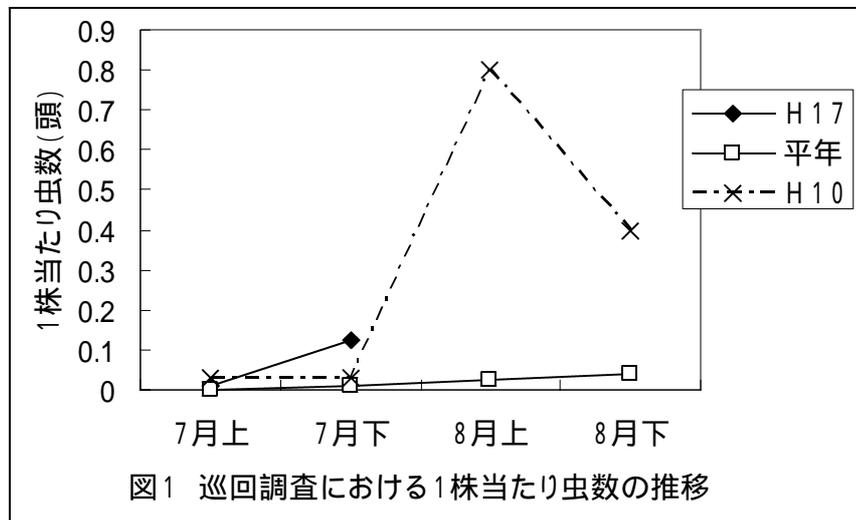
1. 発生地域（対象地域） 県下全域

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

(1) 7月下旬の巡回調査（94筆）の結果、1株当たり虫数は0.12頭（平年0.01頭）で過去10か年で坪枯れが多く発生した平成10年より多い（図1）。また、発生圃場率も31.9%（平年7.0%）と平成10年より高い状況である（図2）。

(2) 7月下旬の県予察圃場調査（普通期水稻、無防除、諫早市）の結果、1株当たり虫数は0.10頭（平年0.07頭）とやや多い。



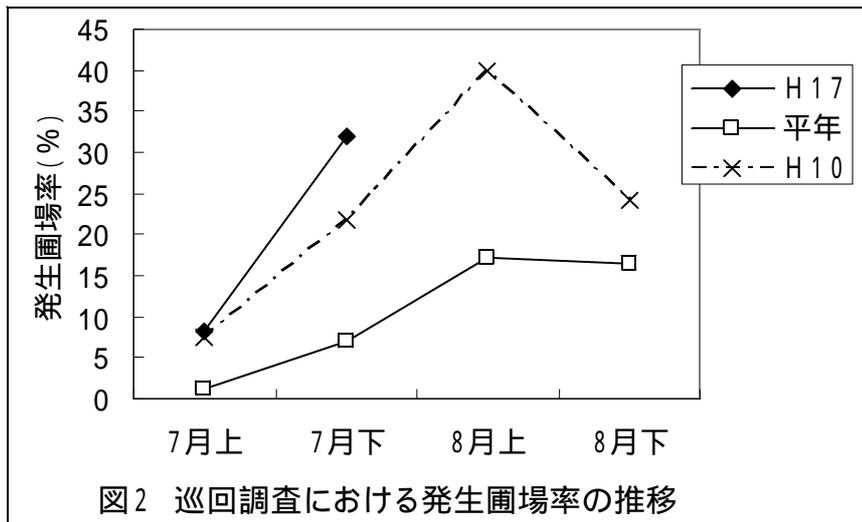


図2 巡回調査における発生圃場率の推移

4. 防除法

- (1) 発生は圃場間差が大きいので圃場の見回りを徹底し、発生状況の把握に努める。8月上旬に1株当たり0.2頭、または8月下旬に1株当たり1頭以上の寄生が認められる場合は早急に防除する。
- (2) 本虫は株元に寄生するので薬剤散布にあたっては株元に薬剤が十分付着するよう丁寧におこなう。
- (3) 薬剤散布にあたっては使用基準を遵守する。